

FEI 総合馬術競技 3スター(3*) 2009 馬場馬術課目 B	CCI***/CIC*** B
参考時間:入場から最後の敬礼まで -約4分45秒	

競技会名	日付	審判員名	審判員位置			
出番順	競技者名	所属	馬名			
1.	A I C	収縮駆歩で入場 停止、敬礼 収縮速歩で発進 左手前蹄跡に入る	整正、リズムと真直性 停止、移行 コンタクトと項の位置	最高点 10	採点	観察所見
2.	HE	左肩を内へ	速歩の整正と質、収縮とバランス 諸関節の柔軟性、屈曲と角度	10		
3.	EF FAK	斜め手前変換、中間速歩 収縮速歩	整正、リズム、弾発 回転時のバランスと 歩巾とフレームの伸展	10		
4.	KE	右肩を内へ	速歩の整正と質、収縮とバランス 諸関節の柔軟性、屈曲と角度	10		
5.	EM MCH	斜め手前変換、中間速歩 収縮速歩	整正、リズム、伸縮性 回転時のバランスと 歩巾とフレームの伸展	10		
6.	HXF	斜め手前変換、伸長速歩	歩巾の伸長と運歩の整正 バランスとフレームの伸展	10		
7.	FA	伸長速歩へと伸長速歩からの 移行 収縮速歩	リズム、 伸長速歩へと伸長速歩からの際の 後肢のエンゲイジメント	10		
8.	A後のクオーターラインで	A通過後にクオーターラインに 入り、DK間より 反対側のXB間のクオーターラインへ 右へハーフパス	速歩の整正と質、収縮とバランス 諸関節の柔軟性、屈曲と流暢さ、 肢の交叉	10		
9.	クオーターラインで	反対側のGH間のクオーターラインへ 左へハーフパス 収縮速歩 右手前蹄跡へ	右へのハーフパスから 左のハーフパスへの移行	10		
10.	CM MSE	中間常歩 斜め手前変換 伸長常歩	整正、活発さ、背の柔軟 伸長常歩の歩巾とアウトラインの伸展 肩の自由さ	10		
11.	E X	中間常歩 左へ回転 停止、不動	中間常歩 停止時のエンゲイジメントと不動(2-3秒)	10		
12.	XBMC	5歩後退 ただちに止まることなく 左駆歩発進 収縮駆歩	後退の正確さ、運歩の整正 バランスとハミ受け	10		
13.	CL	蛇乗り2转弯 最初は正駆歩、 2转弯目は反対駆歩 両長蹄跡に接する	正確さ、バランス、運歩の整正と 駆歩の質	10		
14.	LVK KD ES	収縮駆歩 左へ直径10mの半巻き乗り 蹄跡上Eへ戻る DE間で踏歩変換 収縮駆歩	半輪乗りの正確さと駆歩の質 扶助に従った踏歩変換、従順性 後肢のエンゲイジメント、アップヒル傾向 真直性	10		
			計	140		

出番順	競技者名	所属	馬名	計	140		
15.	S	右~20mの輪乗り 中間駆歩	駆歩の質、インパルジョン、 歩巾とフレームの伸展	最高点	10	採点	観察所見
16.	SHC	収縮駆歩~移行	中間駆歩から収縮駆歩への移行	最高点	10	採点	
17.	CL	蛇乗り2弯曲 最初は正駆歩、 2弯曲目は反対駆歩 両長蹄跡に接する	正確さ、バランス、運歩の整正と 駆歩の質	最高点	10	採点	
18.	LPF FD BMC	収縮駆歩 右~直径10mの半巻き乗り 蹄跡上Bへ戻る DB間で踏歩変換 収縮駆歩	半輪乗りの正確さと駆歩の質 扶助に従った踏歩変換、従順性 後肢のエンゲイジメント、アップヒル傾向 真直性	最高点	10	採点	
19.	CH HK	収縮駆歩 伸長駆歩	駆歩の質、インパルジョン、 アップヒル傾向 歩巾とフレームの伸展	最高点	10	採点	
20.	KA	伸長駆歩へと 伸長駆歩からの 移行 収縮駆歩	伸長駆歩へと収縮駆歩に戻る際の リズムと後肢のエンゲイジメント 真直性	最高点	10	採点	
21.	A L	中央線上に入る 収縮駆歩 停止、不動、敬礼	駆歩 中央線上での真直性 停止と敬礼時の不動	最高点	10	採点	
手綱を伸ばした常歩でAより退場							
						小計	210
22.	ベース	自由自在に変じ、かつ整正であること	最高点	10	採点	観察所見	
23.	インパルジョン	馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀のエンゲイジメント	最高点	10	採点		
24.	従順性	注意力と従順、運動の軽快性及び無理のなさ、 正しいハミ受けとコンタクト	最高点	10	採点		
25.	騎手	騎手の姿勢と騎座、扶助の正しい使用とその効果	最高点	10	採点		
						合計	250

要求されている収縮の程度は、課目に規定されている運動を無理なく流暢に行なえるものであれば十分である。

**減点すべきもの:** 運動課目の誤りと運動を抜いた場合

1回目 = 2点減点.....


2回目 = 4点減点.....

3回目 = 失権

合計
----

注1:運動項目に「軽速歩」とない限りは尋常、中間・伸長速歩は「(座った)速歩」で実施されなければならない。

注2:\*\*/\*\*運動課目においては拍車は必須である。

注3:\*\*/\*\*運動課目においては水勒と同様に大勒も可。

審判員署名